

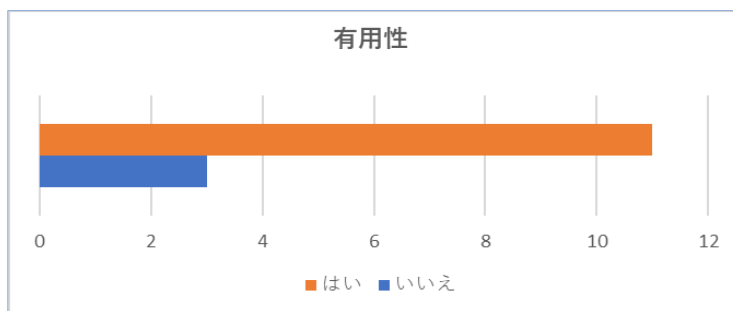
2025 年度市民大学トラム
欧州諸国とサステナビリティ——働き方改革とパート雇用
アンケート集計結果のご報告

中野 聡

6月7日(土)、2025年度市民大学トラムの第2回目が、「欧州諸国とサステナビリティ——働き方改革とパート雇用」をテーマに豊橋創造大学で開催されました。講義では、「サステナビリティ」が社会的、環境的持続可能性と経済成長を両立させるための概念であることに言及した後、①日本の非正規雇用の現状と課題を概観し、②労働市場と社会の分断を解消するひとつの方法としてオランダの「パートタイム経済」の概要と確立の経緯、批判を紹介、そして、③その欧州連合(EU)への波及を、イギリスとフランス、ドイツ、スウェーデンの事例を参考に考察しました。

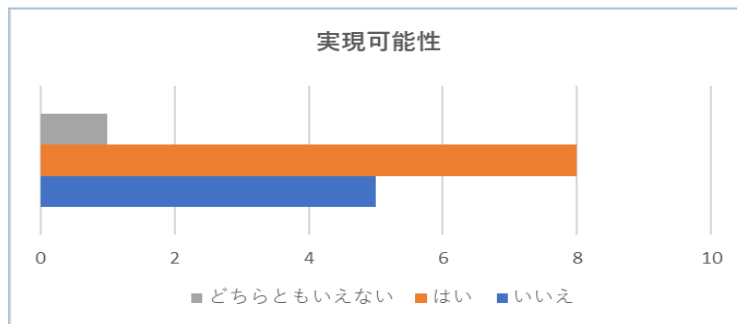
講義では、あくまでも任意ですが、ごく簡単なアンケート(無記名)をお願いしました。14名の方にご回答頂きましたので、ここにご報告させていただきます。設問は2問で、それぞれに関してそう考える理由をお伺いしました。

1. 正規パートタイムは、日本でも有用だと思いますか。



- ・ 現在の多くの社会の問題を解決してくれると考えます。
- ・ 教育現場は教師不足。豊橋の非正規教員の補充のために有用だと思う。
- ・ 必要だけど、特に保育施設不足なので考えてほしいと思います。企業でも施設なども考えてほしいです。
- ・ 日本人にはあわない。
- ・ パートタイムで日本経済は成り立っていると思うのですが、現実としては違うのでしょうか? いつまでも古い概念にとらわれず、時代にあうこれからの働き方を探っていく必要はあると思いますので、変化して、正規パートタイムは有用であると思います。
- ・ 男女共に働きたい人が子育てしながら働けるようにするには有用だと思う。
- ・ 国力及び企業の力は弱くなりますが、人間が豊かになる為には有効だと思います。
- ・ 労働力不足に対応するため。
- ・ 会社のトップ次第。
- ・ 日本では、企業側がいかに安く人を雇うのかを考えている。賃金が上がらない中、これ以上パートタイムを増やすのは、生活ができない方が増えるだけ。

2. 正規パートタイムは、日本でも実現可能だと思いますか。



- ・ 今までの状況からの変化を求めない企業等が多いと考えます(大規模な組織は可能かもしれないが、中規模、小規模な組織では困難)。社会として実施する必要があると考えますが、現在の政治状況では難しいと考えます。
- ・ ただし、法整備や自治体規模で何らかの対策が必要。
- ・ どちらともいえないです。国でも、良く考えてほしいです。
- ・ 出来たとしても時間がかかる。
- ・ 日本人にはあわない。
- ・ すぐには無理かもしれませんが、オランダや欧州各国の政策や実際の数値をみならって、オランダのように近づけてくれると大変うれしいと思います。新しい試みに挑んでいくのは難しい面もあると思いますが、オランダを見習って、少しでも日本の労働がよくなると良いです。
- ・ 政治家、経営者が時代、将来のことを考える様にならないと変わらない。実現してほしい。
- ・ 何割かは可能かと思います。
- ・ 人口減少、高齢化社会の中では有効。
- ・ 会社の仕事により変わる。
- ・ 人口が増えない中、人当たりの労働時間をへらすのは問題がある。ただし、A I の活用等により人がいらなくなるのではないかと思う。このため、正規パートタイムは問題にならないと思う。

ご回答並びに当日のご参加、ありがとうございました。なお、豊橋創造大学での講義は、6月28日、7月5日と続きます。今後とも、よろしくお願い致します。